

ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 133

ラグビーワールドカップ 2019 が開催されます・・・



2019年 ラグビーワールドカップが9月20日からいよいよ日本で始まります。もちろん日本での開催は初めてのことですが半年をきってしまいました。スポーツ業界にとっては2020年のオリンピック・パラリンピックの前の大イベントになります。ワールドカップ日本開催を記念して今回の思いつきラボ コラム企画でラグビージャージを作ってみようということになりました。きっかけは当センターの仕事仲間が入籍をすることになり お祝いになにか・・・と考えていた



ところ 以前“お世話になっているイギリス人の英会話の先生が ラガーシャツが大好きだけど体格がいいので 日本の製品だとサイズに苦労している・・・”という話を聞いたのを思い出し本人がデザインしたラグビージャージを作ってあげたらいいお祝いになると話を持ちかけたところ “やってみる”ということで 今回の企画となりました。

ラグビージャージができるまで

ポリエステル 100% のニット生地に昇華転写プリントした 身体にフィットするタイプのもので多いのですが ゲームシャツ用に作られているので普段に着るには向いてないような気がしています・・・あくまで筆者の嗜好的な感想ですが・・・。ということで今回はベーシックタイプの先染め糸でボーダー天竺で編立てした製品で考えてみました。製品ができるまでの流れで紹介していきますと・・・

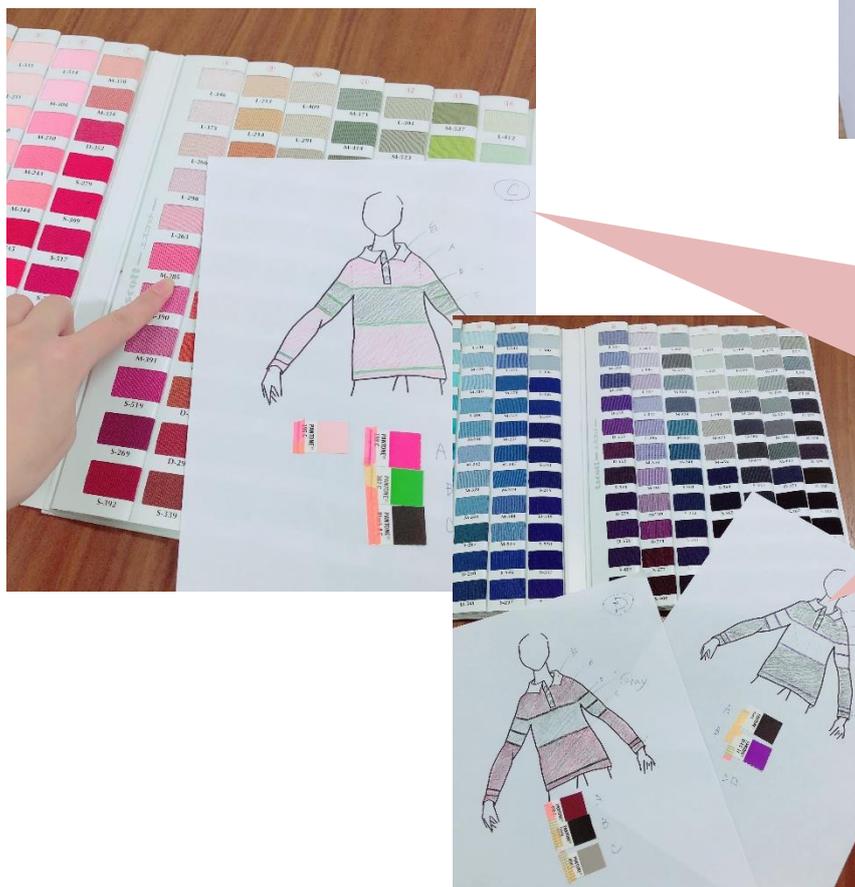


- ① 本人がデザインを考えて数点の画を描いてもらう



- ② その中から一つの柄にきめてもらい配色を色鉛筆で塗ってもらう

- ③ 色のイメージから色見本のカラーチップを選んでもらう
※ 今回は PANTONE を使用



- ④ 市販されている先染め糸の色見本帳から色糸を選んでもらう

※ 今回は
ポリエステル 50% / 綿 50%
の 30/- を使用

- ⑤ では編立します。今回の商品は 30/- の糸 5本引き揃え

※ 編立の糸を送る給糸口に 5本の糸を通して編む5本取りともいう



⑥ 編み上げた生地とデザイン画を比べてみる



⑦ 縫製して完成した ラグビージャージ
※ 衿はチビ衿 前立はイングランド仕様



といった流れで製品は出来上がります。ラグビーユニフォームではあまり使われない色と配色でしたので筆者としては新鮮な感じを受けました。出来上がりもバランスのとれた印象で裾と袖先に1本ラインが入っているのが筆者のお気に入りとなりました。良いセンスしています。

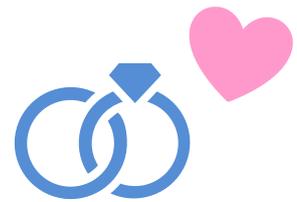
このタイプのラグビージャージの生地を筆者は20年以上担当していました。本来は16/-3本取りが個人的には好きなのですが糸から染めるとこれだけの色数だとすごい量になってしまうので市販の糸で対応しました。こちらの方が高級感がでます。プレゼント用に作った3Lサイズだとおそらく1着で1kgの重量になっています。軽量化が求められている時代にこんな製品も作る人がいるのです・・・筆者のこだわり作品です。

おめでとうございます

今回は写真を多く載せたので文章は少なくなりましたがとても楽しい企画でした。それにしても入籍のお祝いが旦那様ではなくてお世話になっている方と仲のいい友達の分とは・・・ともあれおめでとうございます。愛用してやってください。

原稿担当：竹中直（チヨク）

自由研究協力者：本部 千葉美香



Congratulations!!

